

<高強度青物ギャフ取扱い説明書>

型式：SG8200T

高強度青物ギャフ仕様：

型式：SG8200T

JAN:4582497270204

寸法（設計値）

ギャフ全体：全長20cm、幅12.5cm、線径8mm

フック部：長さ17cm、幅10cm、フトコロ（ゲープ）8.8cm、

ネジ部：W1/2（タモの柄に一致）、ネジ長20mm

重量：175g

材質：ステンレス（フック部—高強度鋼）

適用範囲：3kg～50kg（耐強度65kg）

対象魚：青物、シイラ、キハダ、GT等

製法：ハンドメイド

製造販売：服部商会

高い足場で引く事により、掛けるコンセプトです。高強度鋼を使い、炉で1200～1300℃に加熱し、叩いてカエシを切り、曲げて作った鍛造品（オールハンドメイド）である為、高い耐強度の割に軽量であり、長い柄に取り付け、高い足場で使用する厳しい使用環境に適。カエシが付いている為、フライングギャフとして、切り離して使用する場合も、ギャフが外れにくい。

鍛冶鍛造品は、加熱した状態で叩きます（其のため小傷所謂叩き傷がありますので気になる方はご遠慮を・・・目立たない様にはしてありますが）ので、組織が締まり、強度が増す事は広く知られています。ギャフはフックと同様に構造上片持ちであり、その耐強度は、その硬度に大きく依存します。釣り人は釣り針がその細さの割には異常に強いという事は知っています。釣り針を買うのがもったいないからと言って、ホームセンターで針金（鉄）を買って来て、此れを曲げて釣り針として使う人は流石にいないでしょう。ステンレスに関して言えば、ステンレスの針金は鉄の針金よりはるかに硬い（強い）という事までは知っています。ところがホームセンターで売られているステンレスの針金と多くのギャフ製作メーカーが使っているステン棒とは径が違っただけで同じ素材なのです（標準ステンレス＝鋼種番号 SUS304＝クロムを18%、ニッケルを8%含有する事から 18-8 ステンともいう）。

本ギャフ使用の高強度鋼は標準ステンレス＝SUS304とは全く違うものです（同業者に仕事のやり方を教えてやる必要は無いので具体的鋼種番号は非開示とします）。本高強度鋼は生の状態で既に SUS304 素材の 2～2.5 倍の硬度があり、硬すぎて冷間加工（常温での加工）は不能、よって加熱して軟らかくして、叩いて整形しています（加熱もしないでベンダーで、数秒で曲がってしまうカエシも無い SUS304 製品とは手間が違いますし、材料代も数倍違う・・・同じ価格レベルで売る事はできない）。更に作製したカエシをヤスリで補整しようとしても、まだ新しいヤスリが滑ってしまってまともに掛からないので、特定部位に急冷による硬化が実現されている事が確認できます（これに対して SUS304 は熱によって組織変化は起きず、急冷したとしても焼きは入りません）。

又市販のギャフの中には、丸棒を曲げただけではない、複雑な構造（手前が太く先が細いとか

特殊)のギャフも見受けられますが、これは鑄造由来の製品と推察されます(具体的な事は承知していません)。鑄造は、複雑な形状の部品を大量に然も同一形状に安価に製造できる製法ですが、強度を求められる用途にはあまり向かない事は、広く知られています。「形状的に強そうに見えたのに、なんで、これで口が開くの?」と言った事例がネットを探すとチラホラ出ています。構造が複雑なものを、鍛造でやればできない事は無いが、一日で一個作るのは無理だと思うので、そういう物を一万円以下で売るのは不可能だと思います。以前鍛冶屋と話しをしていて下記の様な会話をしたことがあります。鍛冶屋「客が出刃包丁を一本作って下さい」と来る。鍛冶屋「はい、五千円になります」と言うと、客「ヒエーッ、店に行けばもっと安く買えます」という。鍛冶屋「出刃包丁一本作るのに実際やるとフルに一日掛かるのですよ、うちはとにかく五千円はかかる(五千円もらっても材料費燃料代差し引けば自分の取り分3000円もない)、どういう作り方しているのかもわからない物と価格比較されても・・・、2千円か3千円で売っている物があるのだったらそれを買ったら」と。

当会ギャフが求めるものは防錆力や綺麗さではなく、強度である。片持ち構造であるがために、強度は硬度に大きく依存します。硬度はカーボン(炭素)含有量が大きく関係します。そしてカーボンは錆の原因要素でもあります。つまり、防錆力(錆の発生の少なさ)と強度は同時に両立しません。両者は反比例の関係にあります。ギャフの強度に関する詳しい説明は大物用マニュアルにしておりますので、そちらもご参照下さい。当会ギャフはSUS304ギャフより強度が明確に強い(数割増しではなく数倍強い・・当会比)ですが、錆びに弱い為、後述するように釣行後の防錆の為の手入れをお願いしております。

形状に関して：市販のギャフの多くが掛ける事を優先して、針先を外に向け、掛けたら、針先を貫通させて外に出し、噛んだ魚肉を湾曲部に導き入れ、其処で荷重に耐えるという想定をして、ギャフの形状を決めております。然し40kgも60kgもあるような魚の魚体というのはギャフの大きさよりはるかに大きいので、針先が外に出る訳がないのです。針先は魚体に食い込むだけになります。そうすると、魚体の中心は突き出た針先のその外側にあって、重心は予定した湾曲部から遠く離れた外側に来て、これでは、ギャフの針先が荷重に耐えられる訳がないのです。最初から大型魚の取り込みに耐えられない構造になっています。張り出しが外に出ているのはダメで且つ此の張り出しが長く直線状になっているのは大型魚には全く使い物になりません。当会の本ギャフは湾曲部から針先に掛けての軸をギャフ主軸に略並行にすることにより、口の開きに対する抵抗を高めております。荷重を縦に受け、湾曲部でそれを分散して支持する構成です。

以上説明した複数の構成により、当会ギャフは最大で50～60kgの魚にも対応可能な強度を維持しながら、5～6mの長柄に取り付けて、一人でぎりぎり操作可能な重量(175g)を実現しております。

本ギャフは最も使用頻度が高いと思われる10kg～20kgの大型青物シイラ等を5～6mの長柄で取り込むことを最大の目的とし、万一30kg級キハダ等が食いついてきたとしても一人で取り込む事を目指しています(二人いれば50～60kgも)。

フライングギャフ用アダプターは現在開発中ですが販売迄にはしばらく掛かりますのでとりあえず市販の物をご利用下さい(ネジ合います・・W1/2)。

保守管理に関して：本品はステンレスですが、使用后放置すれば、含有カーボンの影響により、多少の錆がきます。強度に於いてSUS304に勝りますが、防錆力に於いてSUS304に劣ります。釣行後は速やかに水洗いをし、乾いた布で水分を拭き取って、防錆油を吹き付けた後、其れを乾

いた別の布で軽めに拭き取り、保管する事をお勧めします。その時点で既に錆がきいていた場合にはサンドペーパー等で錆を落とした上で同作業を行ってください。釣行前には針先のチェックを行い、鈍っていたら細目のヤスリや砥石で研いでください（出荷時点では針先を爪に垂直に当てれば爪に刺さる様になっています）。

製造販売： 服部商会

〒862-0901 熊本県熊本市東区東町 4-16-9-406

TEL : 096-365-0269